京浜 争議日報

No.5

京浜乗合争議団
府下下大崎四四九

戦ひ実に二ヶ月
意気益々昂る京浜乗合争議団

親愛なる全乗合の兄姉！

まあ争議団の此の元気な有様を見てくれ。壁にかゝつて居る「勝利まで」の太く書かれた文字、その下で握飯をかぢつてゐるのは美人で評判の事務員さんだ。美人でも腹は空る、朝から晩までビラ撒きにとび廻つた人だもの。オヤ、突然見えなくなつたと思つたら押入のフトンの上でかく。こちらの元気な一グループは今や討論の最中、全乗合五千の兄姉の堪へ出した不平と不満に就てその大同団結と全市動員乗合一セイストライキ(ゼネスト)の計画と敢行！一人の勇敢な闘員は叫ぶ「吾々の戦ひは単に吾々のみの戦ひではない。京浜自交に乗合自動車協会によつて強化たる一連の全自動車従業員に対し押付け強制された兄姉の不平と不満の戦ひである。吾等はその先頭隊である」数年数ヶ月の戦ひ尚ほ倒れず当局の腹背近辺も揺がし！

全争議団員頑張れ！、京浜争議団万才！

全乗合の争議団結成万才！

全市動員乗合一セイストライキ万才！

、泥除がブラ下つたから解雇だ、頭を下げぬから告訴だと運転手イヂメをする当局が不思議

争議所に入つた運転手伊藤某が他人の部署外で免許証をとつて不当な取調べで運転してゐるのを体知しながら見逃して争議ツブしを手段は一切十数回からで争議団に出て来るのを途中から追ひ返したり争議団へ来て一々居残者を調べたり、こうした法律や警察や都合よく出来てゐるものか。階級賃金亦の思いとは文字通り

この基金の山を見よ！！

争議半月に及ぶも内全員の闘志熱烈より贈られる基金の絶はつきない。「数年数ヶ月の戦ひも尚屈せず」吾等の言ふ争議と乗客諸君の輪われらの傍にある全員の闘志のものであり、その上、資本家に差し上げる迫ある。向の二ヶ月も極き基金をゾク贈られる全員の闘志諸君吾等は常に諸君の激励と資本家に対する憎悪を満身に感じ、その先頭に立く近戦るものであることを私を以て誓ひ御礼の言葉に代へます

基金報告

一金二百円也　メメ組合
一金五円也　メベス有志
一金参円也　小型有志
一金二十五銭也　都市自動車報
一金五十銭也　ツーリング商組氏
一金七円也　書籍ナツ
一金一円也　書籍店
一金一円也　安藤氏　東書店
小計　一百二十二円七十五銭也
合計　参百八十四円九十一銭也